１．個人データ

職名： 教授　　氏名： 土居　文人　　学位： 修士（文学）　e-mail： fumito@kobe-kosen.ac.jp

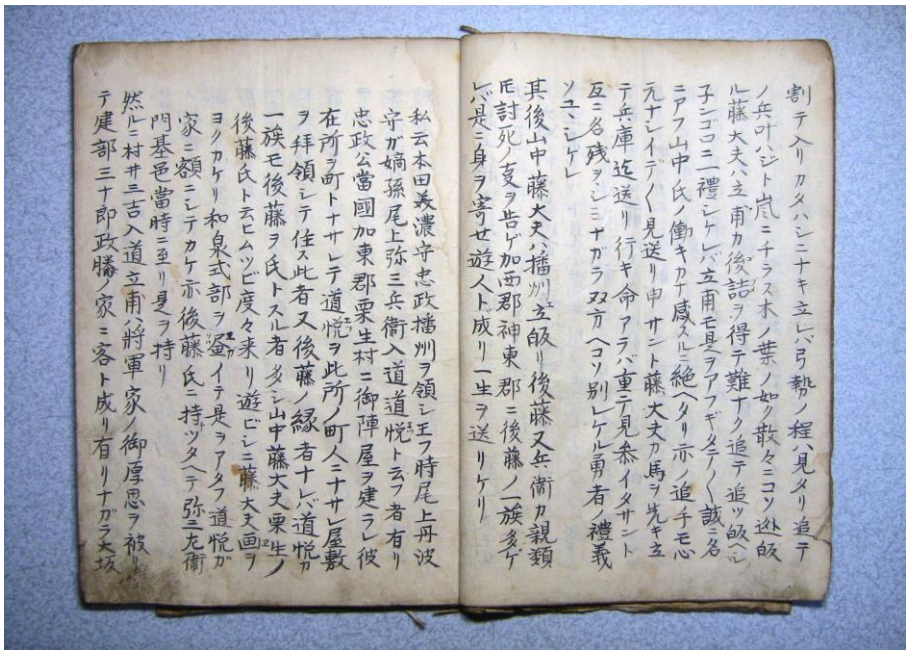
２．教育・研究テーマ

＜江戸時代の写本小説の研究＞

江戸時代には，幕府の許可が得られないため出版されず，個人が筆写することで流通した小説があった。お家騒動・敵討ちなどを扱った「実録（実録体小説）」がその代表である。写本小説には，大名の家臣が主君のお伽のために著したものもあり，出版された小説とは異なる面白さがある。

兵庫県には，「実録」が多く残っており，実際にあった事件を題材にしたものだけでなく，「書写敵討物実録」など，全くの創作の敵討ち小説もある。現在，それらの発掘と整理を行っている。

（写真は，土居個人蔵の書写敵討物実録，『播州書写東坂本敵討実記』。原作者は，江戸時代中期の播磨の郷土史家で講釈も行った人物である，後藤基邑と考えられる。）



＜日本語の語源・語史の研究＞

日本語の語源の解明は難しい。日本語の系統がわかっていないため，比較言語学の方法がほとんど使えないからである。吉田金彦編『日本語の語源を学ぶ人のために』（世界思想社，2006）では，「近世までの語源学と主要参考文献」の執筆を担当した。

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・江戸時代の文献の内容・成立年代などについて
・日本語の語源・語史について
・
・

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・江戸時代の写本小説の特徴について
・日本語語源研究史と語源研究の方法論について
・

（３）キーワード

・日本文学，日本語学，江戸時代，写本小説，語源研究